



しろね図書館だより

No.213

～Since 2000～

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
2018年2月発行



くらしのなかに図書館を

蔵書点検へのご理解・ご協力、ありがとうございました。

今年度の蔵書点検も無事終了することができました。毎年、蔵書点検期間中はお休みをいただきご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。点検では、白根図書館の蔵書約12万冊の資料が正しい場所にあるか、行方不明のものがいないか1冊ずつ確認いたしました。

今後もより一層利用しやすく、皆様に愛される図書館になるよう職員一同努力してまいります。

掲示を変更しました

児童コーナーの本がさらに探しやすくなりました！



【書架案内板が新しくなりました】

どんな本が置いてあるかわかるように分類を表示し、書架の番号も掲示しました。本を探すときの参考にしてください！

このほか、皆さんが児童コーナーを利用しやすいように、大型本の書架やイスの場所を移動しました！



『三途の川で落としもの』

図書館員がおすすめする
この1冊



西條奈加／著
(幻冬舎)

生きることへの執念も薄れていた主人公は川に転落、意識不明となり三途の川をさまよう途中、舟守人に出会い、その二人と共に死人の地蔵玉を探すこととなった。

そして現世に舞い戻り、そこで不遇な娘を溺愛する母の想いや、引きこもりで父親を殺害した男子などに出会い、最後には主人公自身が転落事故に至った原因を知ることから、友人を懸命に救おうとし、そして・・・。

命の大切さと日々平穏な生活のありがたさを感じる一冊でした。 (大平)

子どもたちといっしょに



こうやすすむ／文
なかじまむつこ／絵
(福音館書店)

『だいず えだまめ まめもやし』

親子で楽しめるえほん

くいしんぼうの3人兄弟が、おとなりのおじいさんから大豆を10粒ずつもらいました。3人がその大豆を育ててみると…なんと大豆はおいしい枝豆やもやしに変身！

節分の豆まきに大豆を使った人もいないのでしょうか。味噌や醤油の原料としても欠かせない、身近な食材“大豆”の不思議を楽しく描いた絵本です。

「豆まきにはらっかせいを使った」という人には、同じ作者が描いた『ピーナッツ なんきんまめ らっかせい』もおすすめです。 (大橋)

こんなにオモシロイ！！ 学校図書館&教科書関連の本

2/8～3/6

今月の展示架

小・中学校で使っている教科書、そこで紹介されているいろいろな本、学校図書館に関連する本。ふだんは「あまり見ない本かな」という方も、ぜひどうぞ！

☆白根図書館 3/8 までの行事☆

白根図書館休館日 毎週金曜日・毎月第1水曜日

2/9(金) 2/16(金) 2/23(金) 3/2(金) 3/7(水)

おはなしかご例会

毎月第2・第4土曜日

※白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会です。

おはなしのじかん

毎週土曜日

絵本のよみかたり

午後2時～

ストーリーテリング

※おはなしをかたります。

午後2時30分～

読書会

毎月第3日曜日

2/18 (ルーム2) 午後2時～

2/10(ルーム4.5) 午前10時～

2/24(ルーム2) 午前10時～

ブックスタートは 3/1 (木) です。

赤ちゃんタイム 毎週土曜日 午前11時～午後2時30分

1月の来館者数…6,598人

1月の読書会

平成30年1月21日(日)

参加者 5名

☆今月のテーマ☆

『走れメロス』(太宰治/著) と 太宰治の本



◆『不良少年とキリスト』◆

坂口安吾/著 (新潮社ほか)

太宰治が死去した際のことについて記した、坂口安吾のエッセイ。太宰治について、弱虫の不良少年と評している。安吾の意見としては、太宰は礼儀正しく周囲を気にしすぎる性格のため、最終的に酔っぱらってなんとなく死んだのではないかと書かれていた。

◆『<新釈>走れメロス 他四篇』◆

森見登美彦/著 (祥伝社)

有名作品をパロディ化した小説。現代の大学が舞台。部活動を規則で統制することに反抗する学生の物語だが、途中で王様役とメロス役の学生の立場が入れ替わる。結末はハッピーエンド。

◆『太宰治と聖書』◆ 野原一夫/著 (新潮社)

太宰が聖書からどう影響を受け、また影響を受けなかったか、についての本。太宰は聖書を読んだが、教会にも信仰にも関心を持たず、信仰者にはなれなかった。かえって聖書によって苦しむことになった。もしキリスト教に入信していたら、作品や人生が変わっていたのではないかと書かれていた。

◆『富嶽百景』◆ 太宰治/著 (岩波書店ほか)

あまり考えないで書かれているようだが、読みやすい。

書き出しの文体が特に良い。太宰については、物語(内容)よりも文体に惹かれるものがある。

◆『大人になって困らない語彙力の鍛えかた』◆

今野真二/著 (河出書房新社)

◆『林修の「今読みたい」日本文学講座』◆

林修/編著 (宝島社)

『走れメロス』について取り上げていた本。教科書に多く取り上げられているのは、作中の人物の生き方や考え方について、自分の考えを持つよう授業を行うためではないかと書かれていた。

また、非常に読みやすいということでも取り上げられていた。

テーマ図書

◆『走れメロス』◆ 太宰治/著 (岩波書店ほか)

- ・子どものころ教科書に出ていた。現在の新潟市の教科書でも掲載されている。原典となる話がある。
- ・なぜ教科書に掲載され続けているのかがわからない。物語としての盛り上がりはあるが、今の人間が共感するかは疑問。
- ・わざとらしい。くさい。
- ・いい話でよくできているが、結末が納得できない。
- ・太宰治の性格とはそぐわない話であり、彼がこんな話を書いたこと自体が疑問。太宰は「絶対にこんな人間はいない、こんなことにはなりえない」と思っていたのではないかと書かれていた。
- ・読み比べて分かったが、最近出版された本と昔の本とで、同じ作品でも括弧の後の句点のつけ方などが変更されている。時代の流れによるものか。

～他にもこんな本が紹介されました～

◆『人間失格』◆ 太宰治/著 (新潮社ほか)

◆『ビブリア古書堂の事件手帖 1~6』◆

三上延/著 (KADOKAWA)



次回の読書会



☆2月のテーマ☆

『君たちはどう生きるか』

(吉野源三郎/著)

と人生を考える本

*テーマに沿ったお気に入りの本がありましたら、当日会場にお持ちください。

2月18日(日) 午後2時～

会場：白根学習館 ルーム2

読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする、午後のお茶会のような集まりです。申込みはいりません。

読書会は、しろね図書館友の会との実施事業です。

白根図書館の別置コーナーをご利用ください。

白根図書館では、ひとつのテーマに沿って本を集め、展示しているコーナーがあります。地域の方の身近な課題解決に役立つ「農業コーナー」「ビジネスコーナー」「凧コーナー」のほか、アクアリウムや書道に関連する本を集めたコーナーなどもあります。調べたいことがあるときには、別置コーナーをぜひご利用ください！



味方地区図書室だより

2018年 2月

〒950-1294 新潟市南区味方 1544 (味方出張所内) 電話：025-373-4788

開室時間：午前9時～午後9時30分



味方地区図書室でお気に入りの1冊を見つけてみませんか？ご家族みなで、気軽にご利用ください！

【お願い】味方地区図書室の資料は、新潟市立図書館では返却できません。味方地区図書室へ直接お返しく下さい。

★おすすめ図書のご案内★



<児童書>

『ノラネコぐんだん
アイスのに』
工藤ノリコ／著
(白泉社)

アイスクリームパーラーをのぞくノラネコぐんだん。空っぽの缶の中に入って、アイスクリーム工場に潜入したけれど…。ノラネコぐんだんの魅力全開、シリーズ第6弾！



<一般書>

『ノーマンズランド』

菅田哲也／著 (光文社)

またしても同僚の殉職を経験し、心身に疲弊の残る姫川玲子。心機一転、新たな殺人事件の捜査に集中するが、すぐに行き詰まってしまう。



<一般書>

『大家さんと僕』

矢部太郎／著 (新潮社)

1階には大家のお婆あさん、2階にはトホホな芸人の僕。一緒に旅行するほど仲良くなった大家さんとの二人暮らしを描いた、コミックエッセイ。

月潟図書館だより

2018年2月

編集・発行 新潟市立月潟図書館

〒950-1304 新潟市南区月潟 1417 番地 電話：025-375-3001 FAX：025-375-1060



蔵書点検の休館と3週間貸出のお知らせ

月潟図書館は蔵書点検のため、下記のとおり休館します。
また、蔵書点検に伴い貸出期間を3週間に変更します。

休館期間	平成30年2月21日(水)～28日(水)
3週間貸出期間	平成30年2月8日(木)～20日(火)

- ・図書館がお休みのとき、図書・雑誌は返却ポストに返すことができます。
- ・視聴覚資料(CDやDVD)や新潟市立図書館以外の図書館から借り受けた資料は、返却ポストへは返せません。開館中に窓口へお返しください。
- ・蔵書点検期間中は、電話による予約、貸出の延長、調査相談等はお受けできません。開館している図書館へお願いします。

※山の下・生涯学習センター・亀田・黒埼・西川図書館でも、同期間に蔵書点検を行います。この期間中、南区では白根図書館が通常どおり開館しておりますので、ぜひご利用ください。



毎年1回「蔵書点検」って聞けれど・・・

「蔵書点検(そうしょてんけん)」って、な～に？

「蔵書点検」は、図書・雑誌・視聴覚資料に付いているバーコードを1つ1つ機械で読み込み、登録データが合っているか、資料が傷んでいたり行方不明になっていたりしないかなどを調べる点検作業です。これからも快適にご利用いただけるように、また市民の皆様の貴重な財産である図書館資料を保存していくために行う大切な作業です。

今月の展示コーナー

テーマ「オリンピック」

2018年2月は韓国・平昌で第23回オリンピック冬季競技大会が開催されます！

オリンピックや競技に関する本を展示しています。



月潟図書館 **2** 月の休館日(3月第1週まで)

休館日 毎週月曜日・毎月第一水曜日
国民の祝日・年末及び年始

2/12(月・祝)、2/13(火)、2/19(月)、3/5(月)、3/7(水)、
2/21(水)～2/28(水)※蔵書点検のため休館

開館時間

火曜～金曜：午前10時～午後7時
土曜・日曜：午前10時～午後5時

おはなしの
じかん

◇毎月第2・4木曜日午前11時～午前11時30分 場所：視聴覚室
◇毎週土曜日午前10時30分～午前11時 場所：視聴覚室

赤ちゃんタイム
毎週木曜日 午前10時～正午
場所：視聴覚室